

令和3年度 健康部の運営方針

部(局)	健康部	部(局)長	田中 徹
------	-----	-------	------

【基本方針】

「地域のつながりの中で、いつまでも健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。目標を達成するため、誰もが、身近な地域で、生涯を通じて健康に不安なく、自立して暮らすことができるまちを目指し、高齢者福祉の増進と健康寿命の延伸、健康づくり等の課題に対し、部内のみならず他部署とも連携を強化し総合的に取り組みます。

【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和3年度 達成状況
	新型コロナウイルスワクチン接種の迅速かつ円滑な実施体制の確保及び推進					A
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和3年度 達成状況
	健康づくりの新たな環境や仕組みを構築し、市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進					B
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和3年度 達成状況
	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進					B
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和3年度 達成状況
	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和3年度 達成状況
	国民健康保険事業の健全な運営の推進					A
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和3年度 達成状況
	高齢者の特性を踏まえた保健事業の実施					A

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 1	新型コロナウイルスワクチン接種の迅速かつ円滑な実施体制の確保及び推進
--------	------------------------------------

今年度の達成目標
集団接種、個別接種の実施により円滑にワクチン接種を実施します
今年度の達成目標
希望する対象者の方へのワクチン接種を迅速に進めます

達成状況	達成度
柏原市医師会の協力を得て、集団接種及び個別接種ともに円滑に進めることができました。	A 達成
達成状況	達成度
希望する対象者の方へのワクチンの供給に合わせて接種を行い、3月末時点で1回目接種者53,993名(全人口接種率79.3%)、2回目接種者53,484名(全人口接種率78.6%)、3回目接種者32,662名(全人口接種率48.0%)です。	A 達成

具体的取組	
保健センターでの集団接種と各実施医療機関での個別接種の両方を実施します。個別接種では円滑に接種が進むよう各医療機関をサポートします。	
所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
集団接種の日程及び1日の接種人数を増やし早期に接種が進むよう取り組みます。また、個別接種においても診療時間外(休日、夜間)での接種を依頼します。	
所管室・課	健康づくり課

具体的な取組実績
柏原市医師会と連携を密にとり、ワクチン接種に関する情報提供を継続的に相互で行い、個別接種が円滑に進むよう協力体制を構築しました。また、ワクチン配送においても各医療機関の接種状況を確認しながら、配送量等について、連絡調整を行ったうえで過不足がないよう円滑な配送に努めました。
具体的な取組実績
集団接種では、土・日曜日中心に5月～11月に1回目接種9,592名、2回目接種9,608名、1月～3月に3回目接種3,149名の接種を行いました。接種回数を増やす取組として、接種会場の増設など接種体制の強化に努めました。また、個別接種では、1回目接種44,401名、2回目接種43,876名、3回目接種29,513名の接種を行いました。

総合評価・総括
令和3年度に新型コロナワクチン接種が本格的に開始となりましたが、国のワクチン供給の遅延から当初の予定より開始が遅れる事態は生じたものの、接種体制の見直しを繰り返しながら市医師会とも連携し接種を進めることができました。また、年度途中には3回目追加接種や小児ワクチン接種の開始等、制度が次々に改正されましたが、都度、体制を検討し直すことで円滑に実施することができました。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
今後のワクチン接種については未定ではありますが、法改正に合わせて円滑に接種体制を整えていけるよう、市医師会と連携し柔軟な接種体制の確保に向け対応してまいります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 2	健康づくりの新たな環境や仕組みを構築し、市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進
--------	---------------------------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
市民の健康意識の向上と運動習慣の定着を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業としては実施できない部分もありましたが、運動の機会を希望する方も多く、一定の運動習慣の定着を図ることができたと考えております。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績
市民が各種健康教室へ参加しやすい環境を整え、また、誰もが気軽に運動の機会を得られるよう取り組みます。	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中は、教室を中止することになりましたが、解除後は教室を2回に分けるなど人数制限等の感染対策を行った上で教室を実施し、参加者は年間延べ2,018人でした。また、健康教育「わいわい健康大作戦」では、ボランティアの協力を得て玉手山公園と高尾山創造の森でウォーキング事業を実施し、延べ46人の参加がありました。
所管室・課	健康づくり課

総合評価・総括	全体の達成度
健康づくり事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業の中止や縮小もありましたが、感染対策を行った上で、市民に一定の運動の機会を提供することができました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
感染拡大時や感染状況が長期化する中でも多くの市民が健康に関心をもち自ら健康づくりに取り組めるよう、健康づくりプロジェクトチームを中心に健康に関する啓発や事業実施の方法等を検討し、事業の展開を図ってまいります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進
--------	----------------------------------

今年度の達成目標
在宅医療と介護連携を推進するための医療関係者・介護関係者等への研修・会議を前年度より増やします。
今年度の達成目標
医療関係者・介護関係者の現状及び課題を把握し、情報共有を行います。

達成状況	達成度
医療関係者・介護関係者等の研修・会議の開催数は、前年度に比べ、今年度は研修会・検討会が同数でしたが、地域ケア会議は2回増加しました。	B 概ね達成
達成状況	達成度
いかしてネットかしわら研修会を通じて、医療関係者・介護関係者の現状及び課題の把握と、情報共有に加えて、オンラインという新たな連携ツールを獲得できました。	A 達成

具体的取組	
医療関係者・介護関係者等の研修・会議として、いかしてネットかしわら研修会・検討会、地域ケア会議を行います。	
所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
いかしてネットかしわら研修会で医療関係者・介護関係者の現状及び課題の情報共有を行います。	
所管室・課	高齢介護課

具体的な取組実績
柏原市医師会、歯科医師会、薬剤師会、大阪介護支援専門員協会柏原支部等を主な構成団体とした、いかしてネットかしわら研修会・検討会を3回、個別事例の情報共有や課題解決について話し合う地域ケア会議を7回の合計10回開催いたしました。
具体的な取組実績
いかしてネットかしわら研修会を11月に開催し、医療関係者28名・介護関係者31名の参加がありました。その中では、それぞれの現状及び課題についての情報共有と「医療関係者・介護関係者・高齢者を構成員としたオンラインによる連携会議」をテーマにした、オンラインでの意見交換を行い、オンラインでは新型コロナウイルス感染リスクが無いというメリットがある一方、高齢者のデジタルデバイス解消が課題として挙がりました。

総合評価・総括
医療関係者・介護関係者等の研修・会議を重ねていく中で、各関係者の「顔の見える関係」が構築され、連携が強化されました。その結果、高齢者がいつまでも住み慣れた環境で生活を行うことが可能となるよう、各関係者にて高齢者へのより効果的な支援を行うことができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
今回の研修会で課題として挙げた高齢者のデジタルデバイス解消のため、スマートフォン教室等の講座の開催を検討してまいります。そして、新しい生活様式における連携を医療関係者・介護関係者だけでなく、高齢者本人も交えるかたちで、第8期柏原市高齢者いきいき元気計画の趣旨である「地域包括ケアシステムの一層の深化・推進」を図ってまいります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 4	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備
--------	---------------------------

今年度の達成目標
短期集中予防サービスの利用者 を前年度より増やします。
今年度の達成目標
介護予防・日常生活支援総合事業 の新規事業と既存事業等の連動を 図り、高齢者の参加を促します。

達成状況	達成度
短期集中予防サービスの利用者について、 前年度1名に対し、今年度は13名と増加しま した。	A 達成
達成状況	達成度
介護予防・日常生活支援総合事業の新規 事業として、介護予防把握事業、介護予防 普及啓発事業、介護予防手帳配布事業及 びボランティアポイント事業を立ち上げるこ とができ、また、地域介護予防活動支援事業 や短期集中予防サービスとの効果的な連動 が図れました。	A 達成

具体的取組	
定期的に市と地域包括支援セン ター等と連携会議を開催し、利用 対象者への支援を行います。	
所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
介護予防把握事業、介護予防普及 啓発事業及びボランティアポイント 事業等の新規事業を地域介護予 防活動支援事業や短期集中予防 サービス等の既存事業との連動を 図ったうえで実施します。	
所管室・課	高齢介護課

具体的な取組実績
2週間に1度、市と地域包括支援センター等で連携会議 を27回開催し、利用対象者39名への支援について検討 しました。検討を重ねるごとに地域包括支援センター専 門職のアセスメント能力の向上が見られ、連携会議以外 での事例での支援にも応用できました。
具体的な取組実績
介護予防・日常生活支援総合事業の新規4事業を実施 し、既存事業との連動を図りました。介護予防把握事業 はフレイルチェックリストの回答が658名ありました。介護 予防普及啓発事業は歯科衛生士を地域サロン3団体に 派遣し、血管年齢測定器を講演会等で3回活用しまし た。介護予防手帳配布事業は介護予防手帳を約2,000 冊配布しました。ボランティアポイント事業は約70名の介 護予防ボランティアの参加がありました。

総合評価・総括
市と地域包括支援センター等で連携会議を定期的に開催し、また、この連携会議に大阪府、大阪府作業療法士会、大阪府理学療法士会等の協力があり、より充実した会議となりました。 介護予防・日常生活支援総合事業の新規事業の立ち上げ、既存事業との連動により、介護予防事業の更なる活用を図ることが可能となりました。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
定期的に開催している連携会議の構成員に柏原市内居宅介護支援事業所を加え、自立した日常生活の支援と要介護状態となることへの予防・悪化防止の更なる周知・普及を図ってまいります。 介護予防・日常生活支援総合事業については、包括的支援事業や任意事業も含めた、効果的な連動を意識して、事業構築・連携してまいります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 5	国民健康保険事業の健全な運営の推進
--------	-------------------

今年度の達成目標
被保険者の特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の発症や重症化を予防します。
今年度の達成目標
保険料の収納率向上を図り、国民健康保険財政の健全な運営を推進します。

達成状況	達成度
特定健診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、昨年度を上回りました。	A 達成
達成状況	達成度
保険料収納率は前年度に比べて増加しました。	A 達成

具体的取組	
未受診者対策を実施するなど、特定健診と人間ドックの受診を勧奨します。	
所管室・課	保険年金課
具体的取組	
納付相談の機会の充実や滞納処分の着実な実施に努めます。	
所管室・課	保険年金課

具体的な取組実績
特定健診や人間ドックの受診について、広報誌やホームページにて周知啓発を図りました。特に、特定健診については、未受診者8,277名にはがきによる受診勧奨を行い、また、新たに健診の対象となった者等108名に訪問や電話による受診勧奨を実施しました。
具体的な取組実績
令和3年10月11日から15日まで夜間開庁を実施し納付相談を実施しました。また、預金などの差押えを64件実施しました。

総合評価・総括
特定健診を受診することで得られたデータは、多くの保健事業を実施するための基準として活用されることから、受診率を向上させたことで、より多くの被保険者の健康の保持増進と医療費適正化に資することができました。また、保険料の収納率を向上させたことで、国保財政の健全化と保険料を納期限内に納付されている方との公平性の確保を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
特定健診の未受診者対策や保険料の収納率向上について、他市の好事例などを参考にするため、情報収集に努めてまいります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 6	高齢者の特性を踏まえた保健事業の実施
--------	--------------------

今年度の達成目標
後期高齢者医療広域連合と連携しながら、高齢者の保健事業を開始し、在宅で自立した生活をおくる高齢者を増加させます。



達成状況	達成度
令和3年7月から後期高齢者医療広域連合と連携しながら、高齢者の保健事業を開始しました。	A 達成



具体的取組	
医療・介護データを活用しながら、高齢者の疾病の重症化予防やフレイル予防に取り組みます。	
所管室・課	保険年金課



具体的な取組実績
高齢者に対する個別的支援として、低栄養予防改善事業を13名に、生活習慣病等重症化予防事業を14名に実施しました。また、高齢者に対する全体的支援として、高齢者が集まる通いの場、3か所で健康教育や相談支援を実施しました。



総合評価・総括
医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図ることを目的に、健康保険法等が改正されたことにより、後期高齢者医療広域連合と市町村が、高齢者の保健事業を連携して実施できるようになりました。このことを受け、本市において、広域連合と連携して高齢者保健事業を令和3年7月から開始し、疾病の重症化予防やフレイル予防に取り組むことで、在宅の高齢者を支援することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
高齢者保健事業については、他市の好事例などを参考にしながら、今後の事業展開に繋げてまいります。